

皇太子殿下
御侍並と
祝ふ
赤木松尾

高き日は嗣の御子は
御侍並と

御侍並と何てあるまじき事なり

天地の神をいかにすめろまの

日嗣の宮をとす獲らさるらぶ

すめろまの日は嗣の御子のあま

都も都も光みちなり

大空の日月もすめろまの御深

にとほがしとと光を照らす

あめらぎの日は嗣の宮は花

火の光あまぬし海の外

御氏等が侍しまこと天地の

神に通ふるあまませ御子